

市議団速報

HP <https://jcp-niigata-shigidan.com> No.319



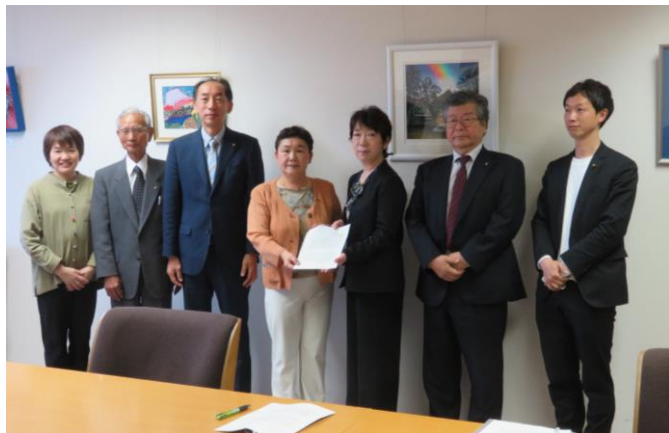
2023年6月6日

日本共産党新潟市議会議員団

電話 025-226-3450

FAX 025-223-7748

Mail jimukyoku@jcp-niigata-shigidan.com



野島副市長に要望書を手渡す6人の日本共産党市議団＝2日

日本共産党市議団は2日、新型コロナウイルス感染症が「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行したことを受け、中原八一市長に対し6項目の要望を行い、6人の市議全員が出席しました。

飯塚孝子市議団長は、「5類」移行により感染対策が個人の判断に委ねられ、無料だったウイルス検査や外来・入院費用は自己負担となり、行政による入院調整も段階的になくなって医療

新型コロナウイルス感染症の「5類」への移行 に関して6項目を市長に申し入れる

機関間の調整に委ねられ、受診抑制と重症化が懸念されると指摘しました。

第6波から第8波にかけての高齢者施設でのクラスター発生件数は最多を更新し続け、死者数も第8波は過去最多となり、その9割以上が高齢者で、施設内療養での死亡者も増加したことから、特に高齢者施設への対策を求めました。

申し入れでは、①施設入所の陽性者は原則入院させ、迅速な治療



資料を示し「施設入所の陽性者は原則入院を」と迫る飯塚団長ら

につなげること②医療機関任せにせず、行政による入院調整機能継続・充実させること③高齢者施設のクラスター発生を避けるため、抗原検査キットの配布を継続し、利用者・職員の定期的PCR検査を実施すること④発熱外来を拡充し、受け入れ医療機関を市民に周知徹底すること⑤陽性者に対応した事業所に補助する「かかり増し経費」を継続するよう国に求め、もしくは独自で対応すること⑥費用負担による受診抑制が起らないよう負担軽減策をはかること―を求めました。

対応した野島晶子副市長は、「5類移行後の不安感、特に高齢者の不安が強いと感じている。ゴールデンウィーク頃からもう大丈夫感が広がっていることを懸念している」としながら、「施設入所者の入院が必要かどうかは医師の見立てに応じて対処している」などの答弁にとどまりました。また、関係部課長は「抗原検査キットはストックがあるので、事業所に希望をとつ

て配布する」「かかり増し経費」については、5月に国から引き続き行うとの通知が出されている」と答えました。

◆◆◆ 6月議会の日程が 決まりました

- 12日(月) 議会運営委員会
本会議(提案理由説明)
- 各常任委員会
- 13日(火) 各常任委員協議会
議会運営委員会
本会議(一般質問)
- 16日(金) 本会議(一般質問)
- 19日(月) 本会議(一般質問)
- 20日(火) 本会議(一般質問)
- 21日(水) 本会議(一般質問)
- 22日(木) 各常任委員会
- 23日(金) 各常任委員会
- 26日(月) 各常任委員会
(請願・陳情)
- 27日(火) 各常任委員会(採決)
- 28日(水) 各特別委員会
- 30日(金) 議会運営委員会
本会議(採決)

